

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-13号)

平成30年9月10日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年9月6日に伊勢湾、9月3日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

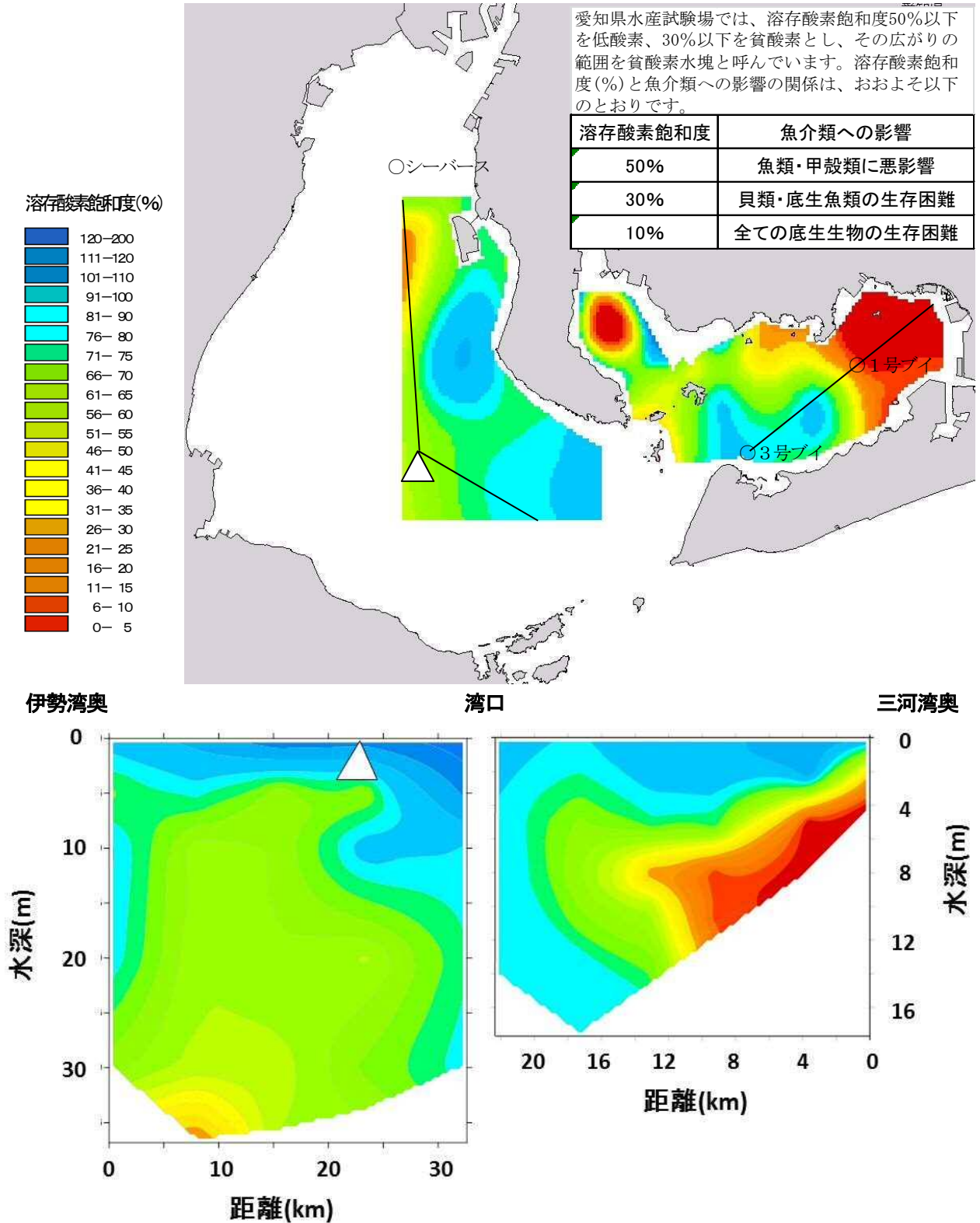


図1 伊勢湾(9月6日)・三河湾(9月3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

9月6日の調査結果を図1に示しました。前回調査（8月16、17日）で確認された貧酸素水塊は縮小していました。

国土交通省中部地方整備局が所管している伊勢湾環境データ管理システムのシーバースのデータを見ると、9月4日に接近した台風第21号の影響により海水の上下混合が起きて、5日には貧酸素水塊が解消した様子が観測されました（図2）。

今後は降雨の影響を受け、表層の塩分低下にともなう成層の発達により、再度貧酸素水塊が拡大すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.2~28.3	14.7~29.8
底層	24.1~26.7	30.3~33.9

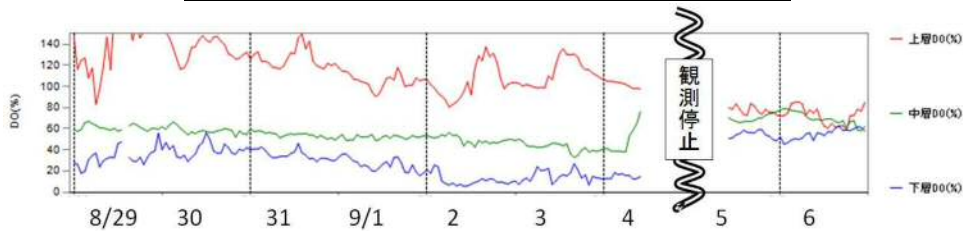


図2 伊勢湾環境データ管理システムのシーバースの溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（国土交通省中部地方整備局HPより）

三河湾

9月3日の調査結果を図1に示しました。前回調査（8月28日）では渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊は解消していましたが、今回再び確認されました。

風向風速は三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ（福江湾沖）のデータを（同1号ブイ（蒲郡沖）の風向風速計はメンテナンス中）、溶存酸素飽和度（DO）は1号ブイのデータを用いました。8月30日から底層で徐々に貧酸素水塊が発達していました。9月3日に風速4.0~9.4m/s（平均6.4m/s）の北東から東南東の風が断続的に吹いた影響により、豊川橋の西側で苦潮の発生が確認されました。その後、9月4日に接近した台風第21号の影響により海水の上下混合が起きて、5日には貧酸素水塊が解消した様子が観測されました（図3）。

今後は降雨の影響を受け、表層の塩分低下にともなう成層の発達により、再度貧酸素水塊が発達すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.0~29.2	26.7~32.2
底層	24.1~28.2	30.3~33.3

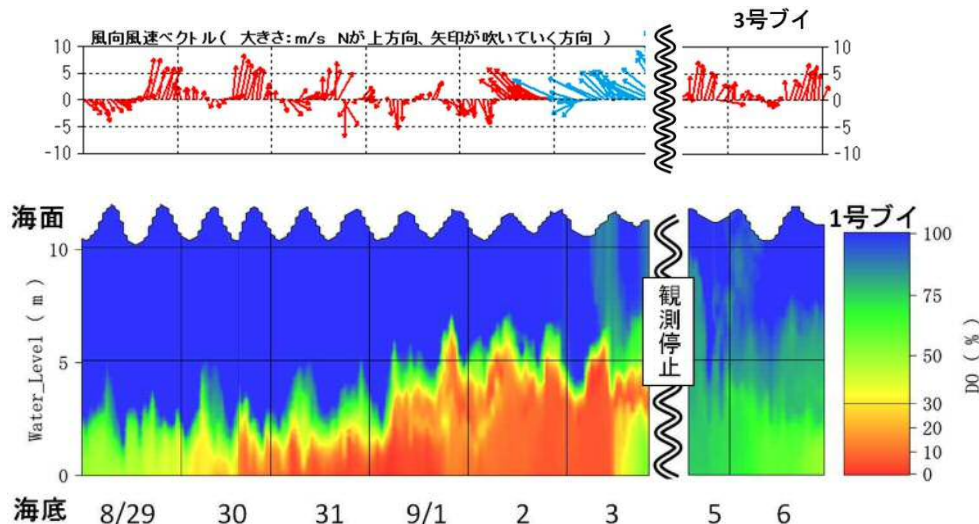


図3 風向風速の経時変化（上図）（三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ）および溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）（同1号ブイ）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

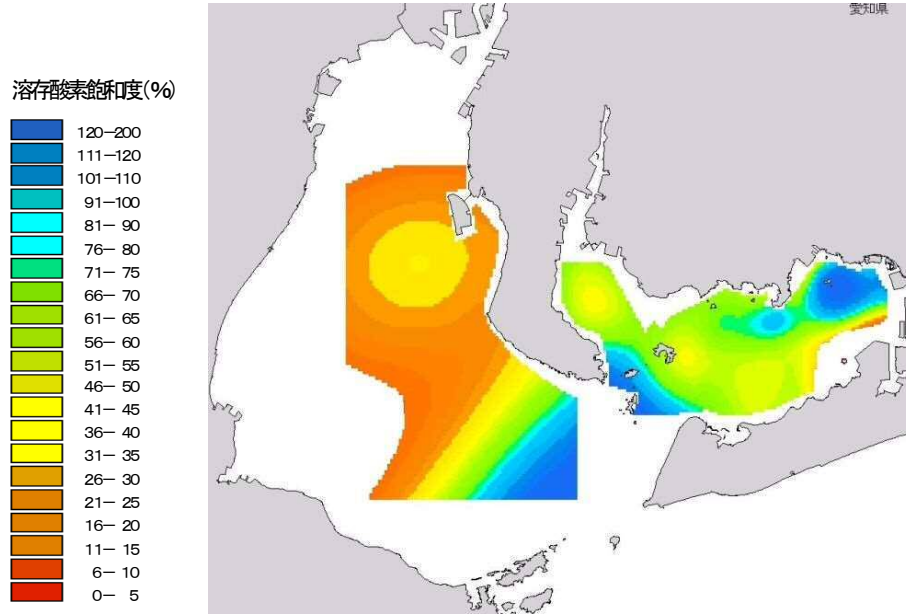


図4 平成30年8月16、17日 (伊勢湾)、8月28日 (三河湾)